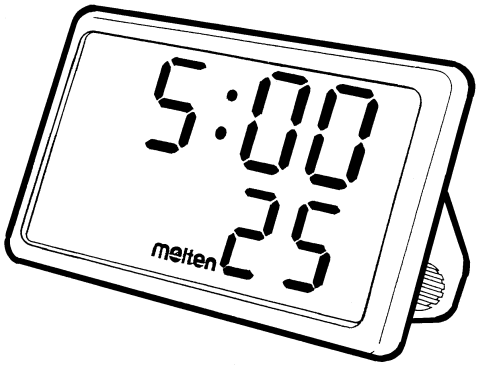
取 扱 説 明 書

屋内用多機能タイマー　**武道用タイマー　ＴＯＰ６０Ｂ**



目　　次

◀1▶ 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1　はじめに

◀2▶ 使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

◀3▶ 各部のなまえとはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(1)停電補償(2)メモリーバックアップ(3)早送りキー(4)ブザー音色・強／弱／切
(5)コールブザー(6)アップカウント(7)得点の消灯(8)リモコンスイッチ(9)連動
(10) **オールリセット** スイッチ

◀4▶ ご使用前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4　使いかた

◀5▶ 操作方法

（１）柔道国内ルール・・・・・・・ 5
（２）柔道国際ルール・・・・・・・ 6
（３）剣　　道・・・・・・・・・・・・・ 7
（４）空手　組手競技・・・・・・・ 8
（５）空手　形競技・・・・・・・・ 9
（６）レスリング・・・・・・・・・・・・ 9
（７）ボクシング・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
（８）フェンシング・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
（９）プログラムタイマー・・・・・・・・・・ 14
（10）ペースメーカー・・・・・・・・・・・・・・ 15
（11）敏捷性トレーニング・・・・・・・・・・ 15
（12）ストップウォッチ・・・・・・・・・・・・・ 16

◀6▶ 故障かなと思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16　困ったとき

◀7▶ 仕　　様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

保 証 書・・ 16

◀1▶ 安全上のご注意　必ずお守りください

警告　指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項

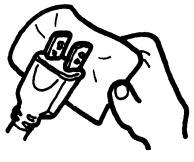
■分解や改造をしないでください。

発火や、異常動作を起こしケガの原因となります。
修理は販売店にご相談ください。

■水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショート、感電の原因となります。

■電源プラグに着いたほこりはふき取ってください。



火災の原因となります。

■定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。

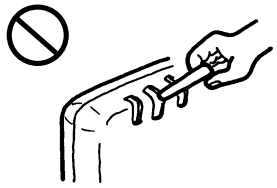
たこ足配線すると、コンセント部が異常加熱して発火の原因となります。

●ご使用前に，この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。

⚠ 注意

指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される事項

■製品の隙間に金属物、異物を入れないでください。

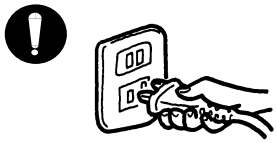


感電や異常動作を起こし、けがの原因となります。

■電源コードやケーブルを傷つけたり、自分で接続補修をしないでください。

火災の原因となります。

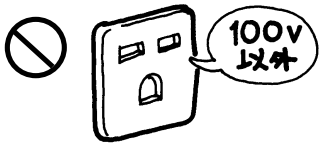
■電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。



感電やショートを起こし、発火の原因となります。

■交流100V以外は使わないでください。

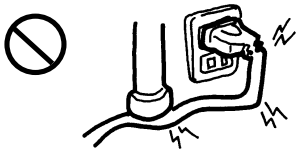
火災の原因となります。



■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わないでください。

感電、ショート、発火の原因となります。

■電源コードやケーブルを無理に曲げたり、踏んだり、引っ張ったりしないでください。



火災、感電の原因となります。

■使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因となります。

◀2▶ 使用上のご注意

操　作

■電源のON／OFFの間隔は5秒以上あけてください。

マイコン暴走の原因となります。万一暴走した場合はボールペンなどで **オールリセット** スイッチを押し、本体の状態をすべてリセットしてください。

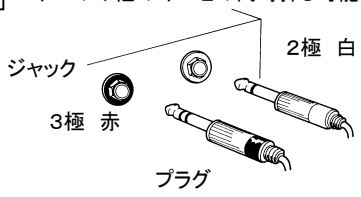
■キーは1つずつ押してください。

2つ以上同時に押すと受け付けません。（タイマー1の スタート／ストップ キーのみ他のキーとの同時押し可能）

■鋭利なものでキーを押さないでください。

■ケーブルのプラグとジャックの色を合わせてください。

モルテン製のプラグ、ジャックは2極が白、3極が赤になっています。



使用・保管・お手入れ

■屋外で使用・保管はしないでください。

本品は屋内使用専用ですので、防水・防塵機能はありません。故障の原因となります。

■直射日光の当たる場所で使用・保管しないでください。

変形の原因となります。

■高温、多湿、結露する恐れのある場所でのご使用・保管はしないでください。

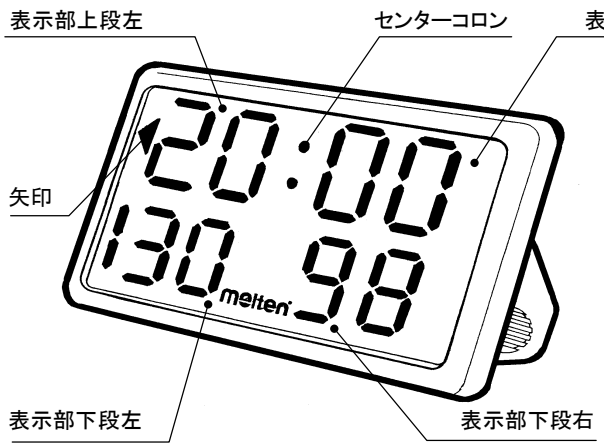
■ぶつけたり、落としたりしないでください。

■ベンジン、シンナー、たわし等は使わないでください。

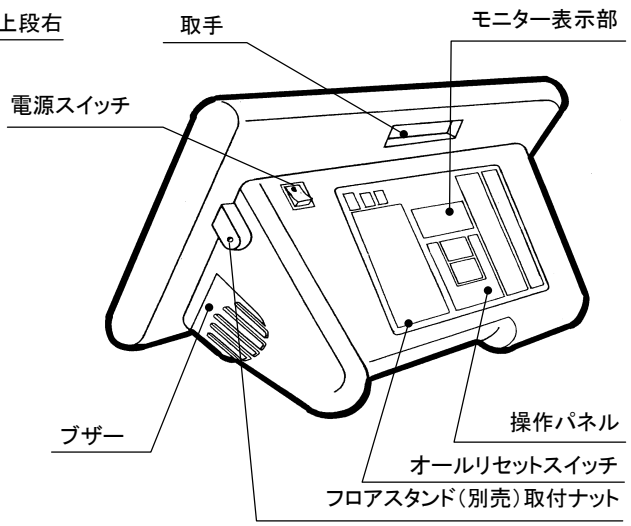
汚れは、柔らかい布でふき取ってください。

◀3▶ 各部のなまえとはたらき

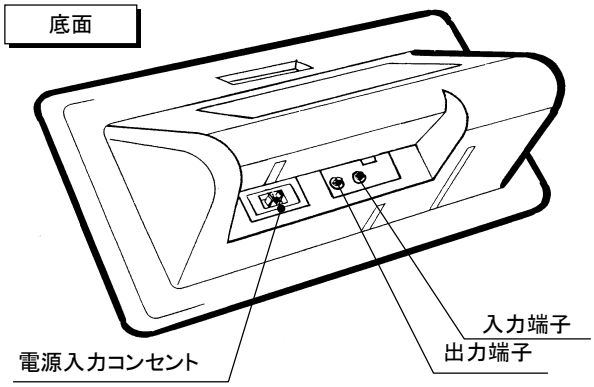
表示面



操作面



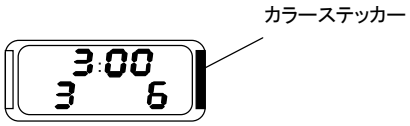
底面



■付属品

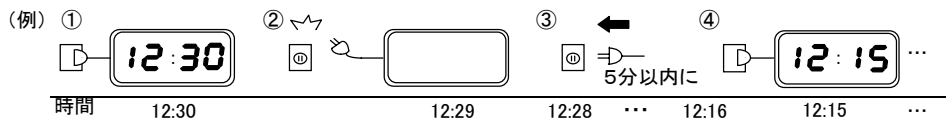
電源コード　5m　1本

カラーステッカー　白、赤、青　各1枚
（剣道、空手、レスリング用）



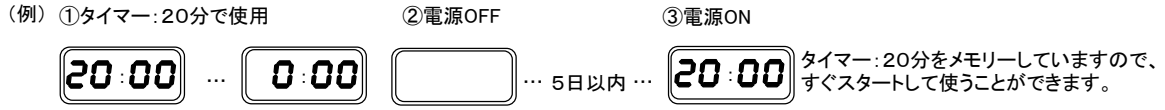
（1）停電補償　5分

使用中万一電源コードが抜けたり停電になっても、表示が消えるだけで　***カウントは継続しています。***
５分以内に再び電源が入れば、そのまま使用を続けることができます。



（2）メモリーバックアップ　5日

前回最後に使った機能の設定を５日間はメモリーしています。
前回と同じ機能を使うのであれば、時間等の設定をしなくてもすぐにスタートすることができます。



（３）早送りキー

分 、秒 、得点 、機能 キーは、１秒以上押し続けると早送りします。

（４）ブザー音色・強／弱／切

ブザー音色･強／弱／切 キーを１回押すごとにタイマー終了時のブザー音を

● 連続	⊖ 連続	○ 連続	○ 連続	○ 連続
○ 断続	○ 断続	● 断続	⊖ 断続	○ 断続
連続音･強	連続音･弱	断続音･強	断続音･弱	切

と切り替えることができます。

（５）コールブザー

コールブザー キーを押すと、押しているあいだブザーが鳴ります。コールブザーの音は、

ブザー音色･強／弱／切 で設定されている連続または断続の強で鳴ります。

（６）アップカウント

タイマー１の クリア キーを押してから アップカウント キーを押してください。ランプが点灯して試合時間タイマーがアップカウントのタイマーに変わります。もう１度 アップカウント キーを押すとランプが消灯してダウンカウントタイマーに戻ります。

（７）得点の消灯

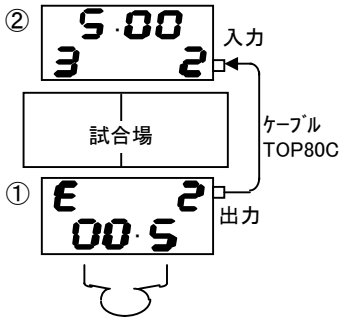
0を表示している時に －1 キーを押してください。消灯します。消灯している時に ＋1 キーを押すと再び点灯します。

（８）リモコンスイッチ　ＴＯＰ　ＲＳ（別売）

リモコンスイッチのプラグを 入力 端子に差し込んでください。表示部上段タイマーのスタート／ストップを行うことができます。１秒以上押し続けるとリセットします。

（９）連　　動（別売）

ケーブル（別売）でつないで、複数の武道用タイマーを連動させることができます。



●左図の場合、②の得点表示位置は①と逆になり試合場と対応しなくなります。その場合、②の 得点･クリア キーを押して得点表示を左右逆にしてください。※1

● ブザー音色･強／弱／切 の設定は各々の武道用タイマーで行ってください。※1
ペースメーカー、敏捷性トレーニングは、２台目以降のペース音の音程、断続の設定ができません。

● 得点･クリア 、 ブザー音色･強／弱／切 以外のキー操作は、１台目以外では受けつけません。

※1．2台目以降の設定は、1台目の試合時間などの設定が終わってから行ってください。

(10) オールリセット スイッチ

ＴＯＰ６０Ｂはメモリーバックアップ機能があるため電源を切ってもメモリーの内容はクリアされません。全ての設定をクリアしたいときや万一動作がおかしくなったときはボールペンなどで **オールリセット** スイッチを押してください。

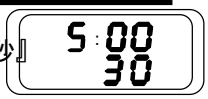
◀4▶ ご使用前の準備

1．付属の電源コードのメス側を本体底面のコンセントに、オス側を電源コンセント（ＡＣ１００Ｖ、５０／６０Ｈｚ）に差し込んでください。
2．電源スイッチをＯＮにしてください。
3．操作パネルの 機能切換 キーを押して、希望の機能を選んでください（機能表示ランプが点灯します）。途中で機能を切り換えるとそれまでの内容は全て消去されます。操作中うっかり押さないようご注意ください。

◀5▶操作方法

（1）柔道　国内ルール（抑え込み：３０秒，２５秒）

試合の残り時間と抑え込みの経過時間を表示できます。
抑え込み時間に国内ルールの『1本＝30秒』と『技あり、警告をとられている場合＝25秒』があらかじめセットされています。



試合時間
（最大99分59秒）

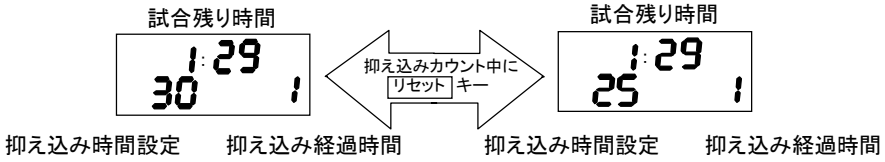
抑え込み時間
（1本＝30秒，
技あり＝25秒）

操作手順	キー操作 タイマー1（試合時間）	キー操作 タイマー2（抑え込み）	表示
1. 試合時間に合わせてください（例：5分）	分＋1 5回		5:00
2. 抑え込み時間の設定を変えたいとき ①『1本』を28秒に変える場合 （変えなければ30秒）		秒＋1 押し続け リセット	5:00 28 5:00
②『技あり、警告をとられている場合』を23秒に変える場合 ※1 （変えなければ25秒） ※以下の説明は変えな かった場合です		秒＋1 押し続け リセット	5:00 23 5:00
3. 試合開始 設定時間がメモリーされます	スタート ストップ		5:00 4:59 ⋮
4. 抑え込みにはいった ※2 ※3		スタート ストップ	1:30 0 1:29 1 ⋮
5. 抑え込み中に”待て”がかかった	スタート ストップ	連動してストップします	1:15 15
6. 試合再開	スタート ストップ	連動してスタートします	1:15 15 1:14 16 ⋮
7. 抑え込みとけた ※4		スタート ストップ	1:10 20 1:09 20 ⋮
8. 次の抑え込みはいった 0からカウントアップを開始します		スタート ストップ	1:05 0 1:04 1 ⋮
9. 30秒経過	連動してストップします	ストップします	⋮ 0:35 30 ピー
10. 試合時間経過 ※5			⋮ 0:00 20 ピー
11. 試合時間に戻します 抑え込み時間は消灯します	リセット		5:00

次ページへ続く

前ページの続き

※１．『技あり、警告をとられている場合』時間を変える場合は、必ずその前に『１本』の時間を設定してください。
※２．抑え込まれた選手がすでに『技あり、警告をとられている場合』（２５秒で１本となります）
抑え込みのカウントをスタートさせた後、抑え込みの リセット キーを押してください。



背面モニター表示部
（表示面には30、25の設定は表示されません）

モニター表示下段左の『３０秒』の設定が『２５秒』に変わり、２５秒経過するとブザーが鳴ってカウントが止まるように変わります。抑え込みカウント中にもう一度抑え込みの リセット キーを押すと３０秒の設定に戻ります。抑え込みがとけた（抑え込みの スタート／ストップ キーを押した）ときは、自動的に『３０秒』の設定に戻ります。

※３．矢印 キーで抑え込み側の矢印ランプを点灯させることもできます。もう１度押すと消灯します。
※４．抑え込みのカウント停止中に、抑え込み リセット キーを押すと、抑え込み時間表示が消灯します。
※５．抑え込みカウント中に、試合時間が０：００になった場合
試合は継続しますので、終了ブザーは鳴らず、抑え込みのカウントも継続します。
抑え込みがとけたときは、抑え込みの スタート／ストップ キーを押してください。ブザーが鳴って試合が終了します。

●時間の訂正がしたいとき
カウント停止中に 分＋1 、分－1 、秒＋1 、秒－1 キーで訂正してください。

●時間の設定を変えたいとき
カウント停止中にタイマーの クリア キーを押して、１.～２.の要領で設定しなおしてください。

（２）柔道　国際ルール（抑え込み：２５秒，２０秒）

抑え込み時間に国際ルールの『１本＝２５秒』と『技あり、警告をとられている場合＝２０秒』があらかじめセットされています。
その他の機能、操作方法は **（1）柔道　国内ルール** と同じです。

（3）剣　　道

試合の残り時間と両選手の既得本数を表示できます。

■試合時間タイマー（カウントダウン）

操作手順	キー操作 タイマー1（試合時間）	表示
1. 試合時間に合わせてください（例：5分）	分＋1　5回	5:00
2. 予鈴を鳴らす場合 ①試合時間をメモリーします	リセット	5:00
②予鈴時間に合わせてください（例：30秒）	秒＋1　押し続け	0:30
③予鈴時間をメモリーします（スタート後、 予鈴時間になると短いブザーが鳴ります）	リセット	5:00　ピッ
④ご希望に応じてその他の予鈴時間を②～③ の要領でセットしてください（最大10点）		
3. スタート 試合時間がメモリーされます	スタート ストップ	5:00 4:59 ⋮
4. 中断	スタート ストップ	2:30
5. 再開	スタート ストップ	2:30 ⋮
6. 試合時間経過		0:00　ピー
7. 試合時間に戻します	リセット	5:00

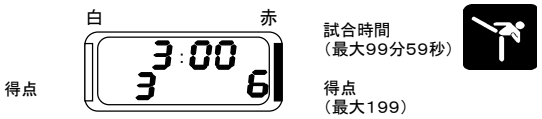
●時間の訂正がしたいとき
カウント停止中にタイマーの［分＋1］、［分－1］、［秒＋1］、［秒－1］　キーで訂正してください。

●時間の設定を変えたいとき
カウント停止中にタイマーの［クリア］キーを押して、1.～2.の要領で設定しなおしてください。

■既得本数

操作手順	キー操作 得　点	モニター部表示
1. 左選手が1本取りました	左　得点＋1	5:00 1　0
2. 右選手が1本取りました	右　得点＋1	5:00 1　1
3. 右選手が1本取りました	右　得点＋1	5:00 1　2
4. 0対0に戻します	クリア	5:00 0　0

（4）空　　手　組手競技



試合の残り時間と両選手の得点を表示できます。

■試合時間タイマー（カウントダウン）

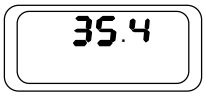
操作手順	キー操作 タイマー1（試合時間）	表示
1. 試合時間に合わせてください（例：3分）	分＋1 3回	3:00 0 0
2. 予鈴を鳴らす場合 ①試合時間をメモリーします	リセット	3:00 0 0
②予鈴時間に合わせてください（例：30秒）	秒＋1 押し続け	0:30 0 0
③予鈴時間をメモリーします（スタート後、 予鈴時間になると短いブザーが鳴ります）	リセット	3:00 0 0 ピッ
④ご希望に応じてその他の予鈴時間を②～③ の要領でセットしてください（最大10点）		
3. スタート 試合時間がメモリーされます	スタート ストップ	3:00 0 0 2:59 0 0 ⋮
4. 中断	スタート ストップ	2:30 0 0
5. 再開	スタート ストップ	2:30 0 0 ⋮
6. 試合時間経過		0:00 0 0 ピー
7. 試合時間に戻します	リセット	3:00 0 0

●時間の訂正がしたいとき
カウント停止中にタイマーの［分＋1］、［分－1］、［秒＋1］、［秒－1］　キーで訂正してください。
●時間の設定を変えたいとき
カウント停止中にタイマーの［クリア］キーを押して、1.～2.の要領で設定しなおしてください。

■得　　点

操作手順	キー操作 得点	モニター部表示
1. 左選手が技あり取りました	左 得点＋1	3:00 1 0
2. 左選手が技あり取りました	左 得点＋1	3:00 2 0
3. 左選手が1本取りました	左 得点＋1 2回	3:00 4 0
4. 0対0に戻します	クリア	3:00 0 0

（５）空　　手　形競技



得点
（最大99.9）

形競技の合計得点を表示できます。

操作手順	キー操作		表示
	タイマー1（得点）	タイマー2（得点）	
1. 得点を入力します　（例35.4）	分＋1 3回 秒＋1 5回	秒＋1 4回	30.0 35.0 35.4
2. 0.0に戻します （タイマー1 クリア キーを押すと消灯します）	リセット		0.0

●誤って得点を入れすぎたとき

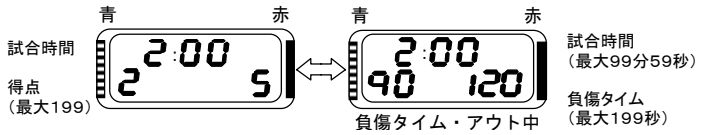
分－1 、秒－1 キーで訂正してください。

●0.01の桁も表示したいとき

得点の クリア キーを押し0.00 を表示させてから 右 得点＋1 、得点－1 キーで1/100の位を入力してください

もう1度得点の クリア キーを押すと0.0 表示に戻ります。

（６）レスリング



試合の残り時間と両選手の得点を表示できます。

第1ピリオド3分－休憩30秒－第2ピリオド3分などのプログラムも組めます。

負傷タイム・アウト中は、得点のかわりに負傷タイム（秒）の合計をアップカウント表示します。負傷タイムにはあらかじめ120秒がセットされています。

操作手順	キー操作			モニター部表示
	タイマー1（試合時間）	タイマー2（負傷タイム）	得点	
1. 試合時間を入力してください（例：3分）	分＋1 3回 リセット			3:00 P1 0:00 P2
2. 休憩ピリオドがある場合 ①休憩時間を入力してください（例：30秒）	秒＋1 押し続け リセット			0:30 P2 0:00 P3
②第2ピリオド試合時間を入力してください　（例：3分） （最大9種類の時間を設定することができます）	分＋1 3回 リセット			3:00 P3 0:00 P4
3. 負傷タイム・アウトの上限時間（秒）を入力してください　（例：120秒のまま）		秒＋1 リセット		0:00 120 120 0:00 P4
4. 負傷タイム・アウトの途中経過時間をブザーで知らせる場合 ①何秒毎にブザーを鳴らすか入力してください（例：30秒毎）		秒＋1 押し続け リセット		0:00 30 30 0:00 P4 ピッ
5. プログラム終了	リセット			3:00 0 0

次ページへ続く

前ページの続き

操作手順	キー操作 タイマー1（試合時間）	タイマー2（負傷タイム）	得点	モニター部表示
6. スタート 表示上段が試合時間、下段が得点表示になります	スタート ストップ			3:00 0 0 2:59 0 0
7. 左選手が3点取りました			左 得点＋1 3回	2:40 3 0
8. 左選手負傷 表示下段が両選手の負傷タイム・アウト表示に変わります 30秒毎に短いブザーが鳴ります	連動してストップ	スタート	負傷タイム 左 スタート ストップ	2:30 0 0 2:30 1 0 2:30 30 0 ピッ
9. 合計で120秒経過 ①試合終了				2:30 120 0 ピー
②得点表示に戻します		リセット		2:30 3 0
10. 試合再開 表示下段が得点表示に戻ります	連動して再スタート	ストップ	負傷タイム 左 スタート ストップ	2:30 3 0 2:29 3 0
11. 試合時間経過 休憩、第2ピリオドの設定がある場合は、ひきつづき休憩時間のカウントが始まります				0:00 3 0 ピー
12. 延長戦になる場合 ①延長時間に合わせてください（例：2分）	分＋1 2回			2:00 3 0
②スタート 負傷タイム・アウトの合計時間はメモリーされています	スタート ストップ			2:00 3 0 1:59 3 0
③延長時間経過				0:00 3 0 ピー
13. 試合時間に戻します 負傷タイムも0に戻ります	リセット			3:00 3 0
14. 得点を0対0に戻します			クリア	3:00 0 0

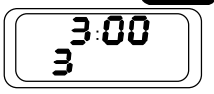
●試合時間の訂正がしたいとき
カウント停止中にタイマーの 分＋1 、分－1 、秒＋1 、秒－1 キーで訂正してください。

●負傷タイム・アウト時間の訂正がしたいとき（最後にカウントした選手側のみ訂正が可能です）
カウント停止中に負傷タイムの 秒＋1 、秒－1 キーで訂正して、タイマー２の リセット キーを押して得点表示に戻してください。

●時間の設定を変えたいとき
カウント停止中にタイマーの クリア キーを押して、１.～５.の要領で設定しなおしてください。

（7）ボクシング

試合時間（ボックスタイムとインターバルタイム）をアップまたはダウンカウントで表示できます。
現在のラウンド数を表示します。



操作手順	キー操作 タイマー1（試合時間）	キー操作 タイマー2（ラウンド）	表示
1. アップカウント表示にする場合は、最初に［アップカウント］キーを押してください。押さない場合はダウンカウント表示になります。（例：ダウンカウント）			
2. プログラム1（ P1 ）にボックスタイムを入力してください（例：3分） 表示が予鈴を表す H1 にかわります	［分＋1］3回 ［リセット］		3:00 P1 0:00 H1
3. 予鈴を鳴らす場合　ラストラッシュタイム設定 予鈴を鳴らす時間に合わせてください（例：30秒）	［秒＋1］押し続け		0:30 H1
4. 予鈴設定モードから抜け出します 表示がプログラム2を表す P2 にかわります	［リセット］		0:00 P2
5. プログラム2（ P2 ）にインターバルタイムを入力してください（例：1分） 表示が予鈴を表す H2 にかわります	［分＋1］ ［リセット］		1:00 P2 0:00 H2
6. 予鈴を鳴らす場合 予鈴を鳴らす時間に合わせてください（例：5秒）	［秒＋1］5回		0:05 H2
7. 予鈴設定モードから抜け出します	［リセット］		0:00 P3
8. ラウンド数を設定する場合(しない場合はエンドレス) 希望の回数に合わせてください（例：3回）		［秒＋1］3回	0:00 P3
9. プログラムセット終了	［リセット］		3:00
10. スタート 表示部下段左に現在のラウンド数が表示されます	［スタート ストップ］		3:00 ピー 2:59 予鈴 0:30 ピッ 0:00 ピー
インターバルに入ると表示下段右下に －－ が表示されます			1:00 -- 0:59 -- 予鈴 0:05 ピッ 0:00 ピー
インターバルが終わると、ひきつづき2ラウンドのボックスタイムがカウントダウンされます			3:00 2:59
試合終了			0:00 ピー

次ページへ続く

前ページの続き

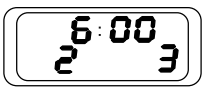
操作手順	キー操作		表示
	タイマー1（試合時間）	タイマー2（ラウンド）	
11. 試合時間に戻します	リセット		3:00 1

●試合時間の訂正がしたいとき
カウント停止中にタイマーの 分＋1 、 分－1 、 秒＋1 、 秒－1 キーで訂正してください。

●時間の設定を変えたいとき
カウント停止中にタイマーの クリア キーを押して、１.～９.の要領で設定しなおしてください。

（８）フェンシング

試合の残り時間と両選手の得点を表示できます。



試合時間
（最大99分59秒）

得点
（最大199）

■試合時間タイマー （カウントダウン）

操作手順	キー操作 タイマー1（試合時間）	表示
1. 試合時間に合わせてください（例：6分）	分＋1 6回	6:00 0 0
2. 予鈴を鳴らす場合 ①試合時間をメモリーします	リセット	6:00 0 0
②予鈴時間に合わせてください（例：1分）	分＋1	1:00 0 0
③予鈴時間をメモリーします（スタート後、 予鈴時間になると短いブザーが鳴ります）	リセット	6:00 0 0 ピッ
④ご希望に応じてその他の予鈴時間を②～③ の要領でセットしてください（最大10点）		
3. スタート「アレ」 試合時間がメモリーされます	スタート ストップ	6:00 0 0 5:59 0 0 ⋮
4. 中断「アルト」	スタート ストップ	2:30 0 0
5. 再開「アレ」	スタート ストップ	2:30 0 0 ⋮
6. 試合時間経過		0:00 0 0
7. 試合時間に戻します	リセット	6:00 0 0

●時間の訂正がしたいとき
カウント停止中にタイマーの 分＋1 、分－1 、秒＋1 、秒－1 キーで訂正してください。

●時間の設定を変えたいとき
カウント停止中にタイマーの クリア キーを押して、１.～２.の要領で設定しなおしてください。

■得点

操作手順	キー操作 得点	表示
1. 左選手が1本取りました	左 得点＋1	6:00 1 0
2. 右選手が1本取りました	右 得点＋1	6:00 1 1
3. 右選手が1本取りました	右 得点＋1	6:00 1 2
4. 0対0に戻します	クリア	6:00 0 0

（９）プログラムタイマー

最大9種類の時間を連続設定できるタイマーです。

繰返回数（最大99）

タイマー（最大99分59秒）

プログラム番号（最大9プログラム）

操作手順	キー操作 タイマー1	キー操作 タイマー2（繰返回数）	表示
1. プログラム1（P1）を希望の時間に合わせてください（例：3分）	分＋1 3回		3:00 0 P1
2. プログラム1の時間をメモリーします プログラム番号がP2にかわります	リセット		0:00 0 P2
3. プログラム2（P2）を希望の時間に合わせてください（例：1分）	分＋1		1:00 0 P2
4. プログラム2の時間をメモリーします プログラム番号がP3にかわります	リセット		0:00 0 P3
5. ご希望に応じてプログラム3以降を1．～4．の要領でセットしてください（最大9プログラム）			
6. 繰返回数を設定する場合（しない場合はエンドレス） 希望の回数に合わせてください （例：3回）		秒＋1 3回	0:00 3 P3
7. プログラムセット終了	リセット		3:00 1 P1
8. スタート プログラム1のカウントダウンがスタートし、0：00になるとブザーが鳴り、引き続きプログラム2のカウントダウンが行われます プログラムのひとまわりを1回と数え、現在の繰り返し回数が表示部下段左に表示されます	スタート ストップ		3:00 1 P1 ピー 2:59 1 P1 ⋮ 0:00 1 P1 ピー 1:00 1 P2 0:59 1 P2 ⋮ 0:00 1 P2 ピー 3:00 2 P1 2:59 2 P1 ⋮ 3回繰り返して、ストップ
9. プログラムの最初に戻します	リセット		3:00 1 P1

●時間の訂正がしたいとき

カウント停止中にタイマーの 分＋1 、分－1 、秒＋1 、秒－1 キーで訂正してください。

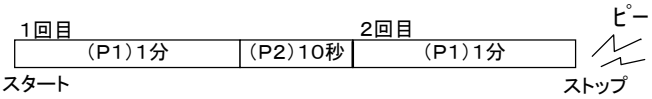
●時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にタイマーの クリア キーを押して、１．～７．の要領で設定しなおしてください。

●最後の休憩時間をなくしたいとき

７．の後に得点 クリア キーを押してください。

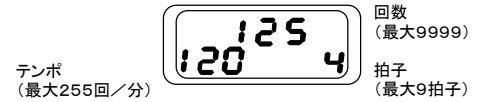
（例） Ｐ１にダッシュ１分を、Ｐ２に休憩１０秒を設定し、繰返回数を２回にした場合



となり２回目のＰ２（休憩１０秒）はカウントされずにストップします。

（10）ペースメーカー

テンポ（早さ）や拍子を自由に設定して、ペース音を鳴らせます。

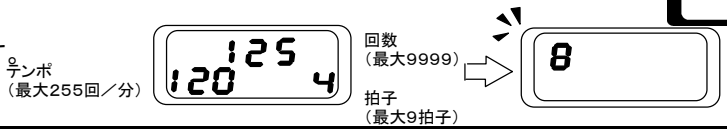


操作手順	キー操作 タイマー1	キー操作 タイマー2（繰返回数）	表示
1. 希望のテンポ（早さ）に合わせてください ※1 （例：130回／分）	秒＋1 10回		130 0 1
2. 希望の拍子に合わせてください （例：2拍子）	分＋1		130 0 2
3. 繰返回数を設定する場合（しない場合はエンドレス） 希望の回数に合わせてください （例：100回）		秒＋1 押し続け	130 100 2
4. スタート 繰り返し回数の設定がメモリーされます 回数は拍子の頭を1回と数え、表示部上段に カウントアップ表示されます テンポ、拍子の変更は常時受け付けます	スタート ストップ		130 1 2 ブッ 130 1 2 ピッ 130 2 2 ブッ 130 2 2 ピッ ⋮ 100回繰り返して、ストップ
5. 回数を0に戻します	リセット		130 0 2

※1. 表示部のテンポ表示は、200以上の設定のとき百の位の下半分が消灯します。

（11）敏捷性トレーニング

表示部上段左右と下段左右の4ヶ所がランダムに光ります。



操作手順	キー操作 タイマー1	キー操作 タイマー2（繰返回数）	表示
1. 希望のテンポ（早さ）に合わせてください ※1 （例：130回／分）	秒＋1 10回		130 1
2. 希望の拍子に合わせてください （例：2拍子）	分＋1		130 2
3. スタート 拍子の頭で上段左右と下段左右の4ヶ所がランダムに 光ります 動作中にテンポや拍子の設定内容が見たときは、 得点＋1 キーを押してください。キーを押している間、 設定内容が表示されます	スタート ストップ		8 ブッ ピッ 8 ブッ ピッ ⋮
4. ストップ	スタート ストップ		130 2

※1. 表示部のテンポ表示は、200以上の設定のとき百の位の下半分が消灯します。

（12）ストップウォッチ

（表示最大１９９時間５９分５９秒９９）

■基本操作

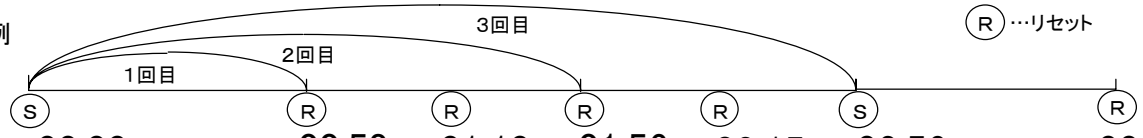
操作手順	キー操作 タイマー1（ストップウォッチ）	表示
1. スタート	スタート ストップ	00:00 00 00:00 01 ⋮
2. ストップ	スタート ストップ	24:58 98
3. 00:00に戻します	リセット	00:00 00

●測定時間が200時間を越えると、引き続き00:00よりカウントを続けます。

■スプリット　途中経過時間計測

Ⓢ…スタート／ストップ
Ⓡ…リセット

計測例



計測時間　00:00 …… 00:58 … 01:10 … 01:56 … 02:15 … 02:56 計測終了　00:00 に戻す

表　示　00:00 …… 00:58 01:10 … 01:56 2:15 … 02:56 00:00

00:58 を表示（SP 点滅）　01:56 を表示（SP 点滅）

◀6▶ 故障かなと思ったら　修理を依頼される前に次の点をもう一度ご確認ください。

症 状	ご確認ください（参照ページ）	使用を再開するとき
点灯しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●電源コードが断線していませんか？	●しっかり差し込んでください。 ●交換してください。 電源コードPW05C3
途中で0に戻る でたらめな表示をする	●電源を瞬間的にON/OFFしませんでしたか？（→P.2） ●もとの電源が瞬間的に落ちたり大きなノイズがのると動作がおかしくなることがあります。	●ボールペンなどで **オールリセット** スイッチを押し、本体の状態をすべてリセットしてください。
キーを受けない	●2つ以上のキーを同時に押 していませんか？（→P.2）	●キーは1つずつ押してください。

●上記以外の異常がある場合は、使用を中止し電源プラグを抜いてから、販売店に点検・修理をご相談ください。

■長年ご使用のさいの点検を

このような 症状はありま せんか？	●電源コード、プラグが非常に熱い ●煙が出たり、焦げ臭い臭いがする ●本体の一部に割れ、ゆるみ、がたつきがある。 ●本体に触ると、ピリピリ電気を感じる。 ●その他、異常・故障がある。	⇒	ご使用 中止	このような症状のときは故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に、点検・修理をご相談ください。

◀7▶ 仕　様

■サイズ・重量　：　幅60×奥行27.5×高さ35cm、5.5Kg
　　数字高さ　　上段：赤12cm、下段：黄11cm
■電　　源　：　AC100V　50/60Hz　（最大消費電力　30W）

●製品の機能を維持するために必要な補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後７年です。
●品質向上のため予告なく仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

MADE IN JAPAN
1999.3.23

保証書

本書は下記の保証規定の内容により無料で修理および調整を行うことをお約束するものです

品　　名：武道用タイマー
品　　番：ＴＯＰ６０Ｂ
保 証 期 間：お買い上げ日より６ケ月
お買い上げ日：　　年　　月　　日

株式会社 モルテン
東京本社　東京都墨田区横川５丁目５－７
大阪・名古屋・福岡・広島・四国・仙台・札幌

■お客様

おところ	TEL(　　)　　－
お名前	様
販売店名	

保証規定

■保証期間中にお客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は本保証書に記載された保証規定に従い、無償で修理させていただきますので、製品と保証書をご持参、ご提示の上お買い上げの　販売店にご依頼ください。※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
■保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
①保証書のご提示がない場合　②保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合　③使用者側での輸送・移動時の落下等お取扱いが適当でないために生じた故障・損傷の場合　④説明書に記載の使用方法および注意に反するお取扱い、または不良な修理や改造による故障・損傷　⑤火災・天災および異常電圧等外部に要因がある場合
■この保証書は国内で使用される場合だけ有効です。This warranty shall be valid only in Japan.